

SPORTS NEWS

2017年
2月20日号

せんしゆ れんしょう キングズベリー選手が連勝

ワールドカップ・モーグル秋田たざわ湖大会



男子モーグルで優勝したキングズベリー選手のエア

フリースタイルスキー・モーグルのワールドカップ秋田たざわ湖大会は2月18・19日、秋田県仙北市のたざわ湖スキー場で行われ、男子のミカエル・キングズベリー選手(カナダ)がモーグル、デュアルモーグルで連勝し、種目別6連覇を決めた。

デュアルモーグルの決勝トーナメントでは、原大智選手を精度の高いターンとエアで下し、日本のファンに世界最高の技術を見せつけた。2014年ソチ五輪では銀メダル。来年の平昌五輪では金メダルを目指す。男子の日本勢は、モーグルが堀島行真選手の6位、デュアルモーグルは原選手の10位が最高だった。



男子デュアルモーグルの決勝トーナメント1回戦。滑走する原選手(右)とキングズベリー選手

「スマイルジャパン」2大会連続五輪へ

アイスホッケー女子、平昌行き一番乗り



第3ピリオド、好セーブを見せるGK 藤本選手(中央)

アイスホッケー女子の平昌五輪最終予選最終日は2月12日、北海道・白鳥王子アイスアリーナで行われ、女子日本代表「スマイルジャパン」はドイツに3-1で勝って1位となり、2大会連続3度目の五輪出場を決めた。日本勢では全競技を通じて平昌五輪出場決定の第1号となった。

堅守が光った。日本は第1ピリオド、攻め込まれる時間帯が続いたが、2015年世界選手権ベストGKの藤本那菜選手の好セーブでのいだ。平昌では五輪初勝利を目指す。山中武司監督は「ここから高い目標を設定したい」と気を引き締めた。



笑顔のスマイルジャパン

わかつきせんしゆ しょうねんだん しれんぱ 若月選手がアルペン少年男子連覇



アルペン少年男子で優勝した若月選手

「ながの銀嶺国体」スキー競技会

第72回国民体育大会冬季大会「ながの銀嶺国体」スキー競技会は2月14～17日、長野県の白馬八方尾根スキー場などで行われ、アルペンの少年男子で若月隼太選手(新潟)が2連覇を達成し、少年女子は片桐麻海選手(北海道)が優勝した。ノルディック複合少年男子は木村吉大選手(秋田)が優勝。成年男子Bでバンクーバー、ソチ両五輪代表の湊祐介選手(秋田)が3連覇を達成した。アルペールビル、リレハンメル両五輪ノルディックスキー複合団体金メダリストの荻原健司選手(長野)は8位だった。

ジャンプ成年男子Aは永峯寿樹選手(長野)が優勝。同成年男子Bは永井健弘選手(岩手)が2連覇。長野五輪金メダリストの船木和喜選手(北海道)は3位、荻原選手は15位だった。男女総合、女子総合とも秋田が優勝した。

オリンピック・パラリンピック通信

パラリンピック競技 ボッチャ



ボールを投げる広瀬隆喜選手

Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

ボッチャは、「ジャックボール(目標球)」と呼ばれる白いボールに向かって、赤と青のそれぞれ6個のボールを投げ、どれだけ近づかれるかを競う。相手のボールをはじいて自分のボールを優位にしたり、ジャックボールをはじいて移動させることもできるため、高度な戦略やテクニックが必要となる。手でボールを投げるができない選手は、足でボールを蹴ったり、競技

アシスタントと共に「ランプ」と呼ばれる小さな滑り台のような用具を使って、ボールを転がすことができる。障がいの程度でクラスが分かれており、個人戦、2対2のペア戦、3対3のチーム戦があり、男女混合で競技を行う。

2016年のリオデジャネイロパラリンピックで、日本はチーム戦で銀メダルを獲得し、同競技で初の快挙となった。